

確認者、関係者の人権、普通に暮らしていくための人権、大切なこのことが決して侵されないよう、行政としても全力でこのことを守り、ご支援をしております。市民の皆様にもどうぞよろしくお願いいたします。

そして、私たちとして今、大切なことは、年末年始はもとより、どんなときでも、どんな生活の場面の中でも、感染予防の重要性を常に自覚し、普段の生活の中でより一層、感染予防をしっかり徹底することです。

1.社会的距離の確保

2.マスクの着用

3.こまめな手洗い

そして、3密(密閉、密集、密接)の回避、です。

とりわけ年末年始、イベントなどでの外出は混雑を避け、必要に応じ時間調整などの工夫を行う、さらには、外出は体調と相談して判断する、普段からこまめな換気と保湿に心がける、その上で全国では会食で感染が広がるケースも増えています。飲食時の大声を控えるなどの予防エチケット、飲み会は2時間までを目安とする、アクリル板などで4人以下の単位にする、そして、全体を通じて、とりわけ、高齢者や基礎疾患のある方への一層厳格な配慮は、徹底的に行っていただきたいと思えます。

本日は、本年、令和2年のおおみそかとなりました。今年一年、本当にありがとうございました。

引き続き、市民みんなで感染予防対策、その徹底に取り組み、一丸となってこの難局を乗り越え、希望ある京丹後の豊かな発展に向け、一步一步前進をしてまいります！

令和2年12月31日

京丹後市長 中山 泰

弥栄病院長からのメッセージ

【令和2年12月31日発表分】

当院では、12月24日に入院患者様より新型コロナウイルス感染症の陽性を確認し、27日までに入院患者様5名、職員1名の陽性が確認されたことから、28日以降の外来診療、新規入院、救急診療につきまして制限をかけさせて頂いておりましたが、30日には、京都府新型コロナウイルス感染症施設内感染症専門家サポートチームの現地調査を受け、また丹後保健所他関係機関の指導を仰ぎながら院内感染の防止強化に努めて参りました結果、現時点で、入院患者様及び職員からの新たな感染は、確認されていない状況です。

以上の結果を受けまして、京都府医療保健当局との丁寧かつ慎重な協議も経て、一部の予約診療及び産婦人科分娩対応と人工透析対応を除いて制限しておりました当院の外来診療について、1月4日(月)から通常診療を再開することといたしました。また、1月2日(土)の休日当番医についても当初予定どおり当院で行います。なお、引き続き制限しております新規の入院、救急診療につきましては、診療環境整備を行ったうえで、再開時期を決定次第、別途ご案内いたします。

患者様及び患者様のご家族様、地域の皆様には、多大なるご迷惑、ご心配をお掛け致しましたこと、心よりお詫び申し上げます。

引き続き関係機関と連携を図りながら、職員が一丸となり「新型コロナウイルス」の感染防止に取り組み、一日も早く診療を全面再開できるよう努めて参りますので今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

令和2年12月31日

京丹後市立弥栄病院 病院長 神谷 匡昭